

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite LH4370UHB
ProLite LH5570UHB

重要

で使用する前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語

警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードおよびケーブル類は付属のものを使用すること。

本製品は、付属品を使用した状態で VCCI の技術基準を満たしています。

日本語

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。



愛情点検

ご使用の際
このようなことは
ありませんか

長年ご使用のモニタの点検を！

●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。

●キャビネットが異常に熱い。

●煙が出たり、こげくさい臭いがする。

●使用中に異常な音や振動などがある。

●その他の異常や故障がある。

ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをはずし、必ず販売店またはiiyamaサポートセンターにご連絡ください。

点検・修理に要する費用などは販売店またはiiyamaサポートセンターにご相談ください。

もくじ

安全にご使用いただくために	1
ご使用の前に	5
特長.....	5
標準付属品	5
開梱.....	5
各部のなまえ：モニター	6
モニターの設置	9
各部のなまえ：リモコン	11
リモコンの準備	12
リモコンを使う	13
基本操作.....	14
コンピュータとの接続：ProLite LH4370UHB	17
コンピュータとの接続：ProLite LH5570UHB	18
コンピュータの設定	20
操作手順.....	21
調整メニューの内容	23
スタンバイ機能.....	31
故障かなと思ったら	32
クリーニング	34
アフターサービス	35
保証書／保証期間について	35
修理サービス	35
リサイクル／廃棄について	35
付録.....	36
一般仕様：ProLite LH4370UHB-B1	36
一般仕様：ProLite LH5570UHB-B1	37
外形寸法図：ProLite LH4370UHB.....	38
外形寸法図：ProLite LH5570UHB.....	38
対応信号タイミング	39

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

警告



万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は販売店または iiyama サポートセンターにご依頼ください。



禁止



プラグを
抜く

異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。

万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。



禁止



プラグを
抜く

花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。

万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。



禁止



プラグを
抜く

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。

万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

警告



水場での
使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



アースを
接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード（黄 / 黄緑）を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。



禁止

AC アダプタや電源コードを分解しない、傷つけない

AC アダプタ，電源コードを分解すると、火災や感電の原因となります。
AC アダプタ，電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。コードが傷んだらすぐに販売店または iiyama サポートセンターに交換をご依頼ください。



指示に従う

AC アダプタは必ず付属のものを使う

付属以外の AC アダプタをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙，発火の恐れがあります。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

注意



禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く



禁止

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。オーダーメイドのキャビネットに取り付けられている場合は、風通しを良くするため、通風制御システムと組み合わせて使用してください。



指示に従う

移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



指示に従う

旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



指示に従う

プラグを持って抜く

AC アダプタ、電源コード、信号ケーブルなどを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

注意

■ 本製品の最大動作時間は 24 時間です。ただし、同じ画面を長時間表示させていると、画面の焼き付き（残像）を起こすことがあります。

(1) 液晶画面の焼き付きを防ぐために

- ・ 静止画像を連続して表示する場合、動画を使って静止画像の連続表示を中断させることをおすすめします。
- ・ 定期的に背景色と背景画像を変更することをおすすめします。
- ・ 画面を長時間表示させる場合は、下記をおすすめします。
 - Ⅰ . スクリーンセーバーを使う。(動画または黒パターン)
 - Ⅱ . 使用しないときは、モニタの電源をオフにする。
 - Ⅲ . 画面の明るさを、控えめな明るさに設定する。
- ・ モニタを適切に換気してください。オーダーメイドのキャビネットに取り付けられている場合は、通風制御システムと組み合わせて使用してください。
- ・ 特に高温環境で長時間使用する場合は、ファンなどの冷却システムを使用することをおすすめします。

(2) 液晶画面に焼き付きが起ってしまったら

- ・ モニタの電源を数時間オフにしてください。
- ・ スクリーンセーバーを全黒画面か全白画面に設定し、数時間スクリーンセーバーを表示させたままにしてください。

■ 本製品は屋外で使用することはできません。

■ 本製品は画面を上向き（フェイスアップ）で使用することはできません。

■ 指定以外のケーブルを使用した場合の画質は保証いたしません。

故障ではありません

■ お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。

■ 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。

■ 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。

また、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

特長

- ◆ 最大 3840 × 2160 モードをサポート
- ◆ 高コントラスト 4000 : 1 (標準) / 輝度 700cd/m² (標準)
- ◆ デジタルスムージング機能搭載
- ◆ 調整の手間を軽減する自動調整機能
- ◆ 省電力設計
スタンバイ機能搭載
- ◆ VESA マウント規格 (400mm × 400mm) 対応
- ◆ 最大 24 時間連続使用をサポート (動画表示)

標準付属品

モニター本体の他に、下記のもの全てが含まれていることをご確認ください。

- | | | |
|-----------------------------|----------------------------|-------------------|
| ■ AC アダプタ * ^{1,2} | ■ 電源コード * ² | ■ HDMI ケーブル |
| ■ RS232C ケーブル | ■ IR 延長ケーブル * ³ | ■ USB 延長ケーブル |
| ■ リモコン * ⁴ | ■ 壁掛け用キット * ⁵ | ■ ケーブル結束バンド (6 本) |
| ■ iiyama ロゴマグネット | ■ 筐体用ステッカー (3 枚) | ■ シリアルシール (3 枚) |
| ■ セーフティ & クイックスタートガイド / 保証書 | | |

補足

- *¹ AC アダプタ型名: AMP-160-24 (WEIHAI POWER ELECTRONICS CO., LTD.)
- *² 付属の AC アダプタ、電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。
また、次のような場合は、サポートおよび保証の対象外となります。
■ 付属以外の AC アダプタ、電源コードをお使いになる場合
■ 日本以外の国でお使いになる場合
サポートおよび保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った AC アダプタ、電源コードをご使用ください。
- *³ 粘着パッド (1 枚)、マグネット (1 個) が含まれます。
- *⁴ 電池は付属していませんので、市販品をご使用ください。
- *⁵ ブラケット (2 個)、ネジ (8 個)、アンカー (8 個)、壁掛けガイドシート (1 枚) が含まれます。

開梱

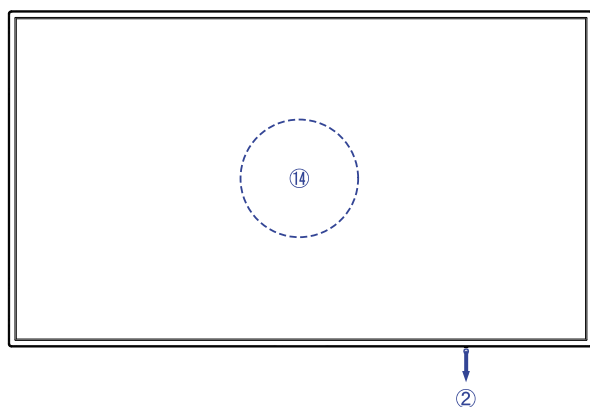


注意

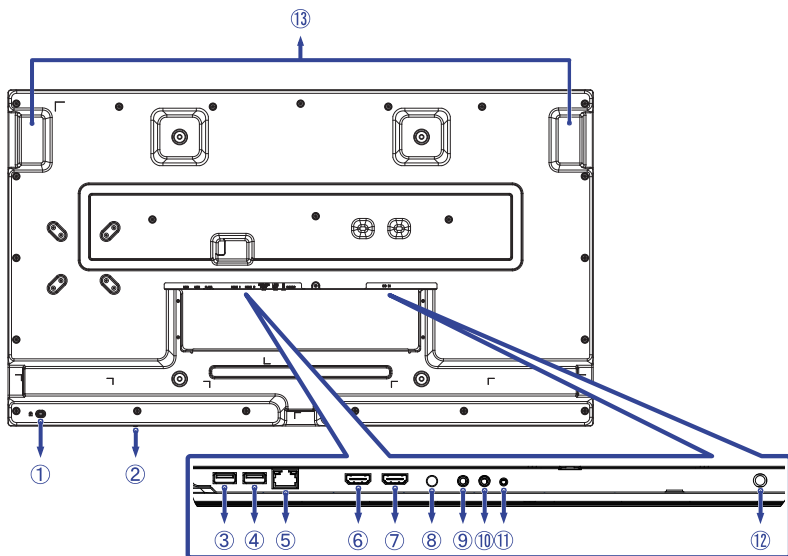
本製品を開梱 / 移動させるときは、2 人以上で行ってください。
1 人で行うと、本製品を落としてケガをする可能性があります。

■ ProLite LH4370UHB

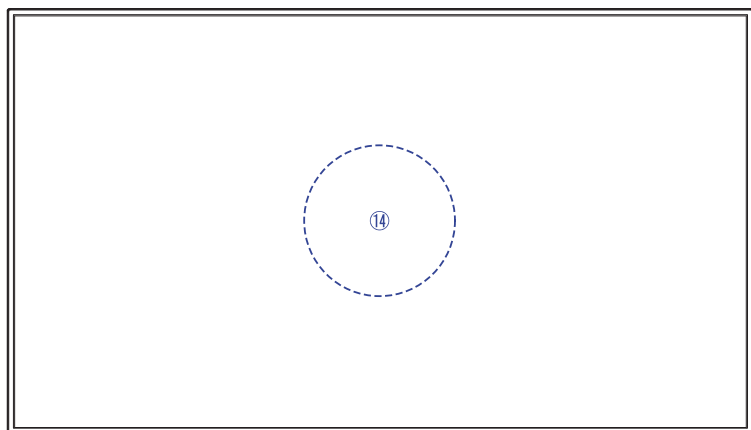
< 前面 >



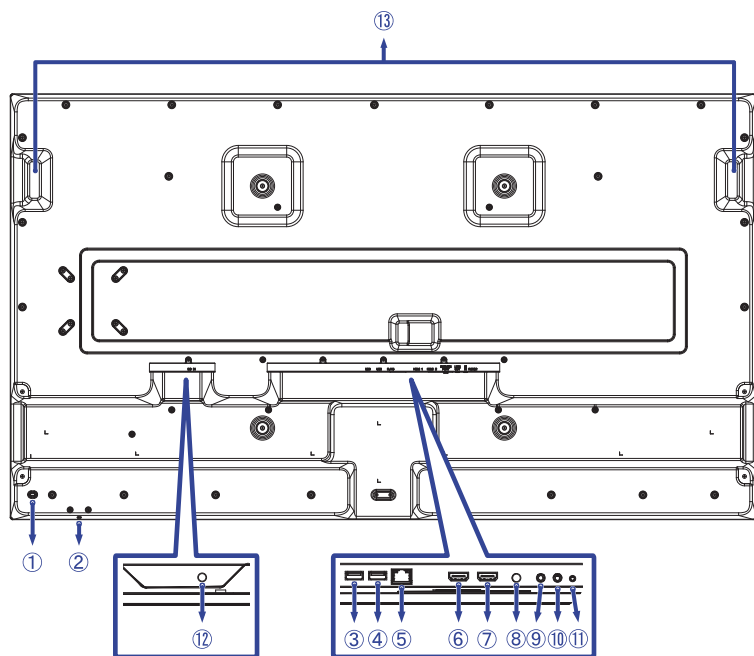
< 後面 >



< 前面 >



< 後面 >



①	盗難防止ロック用ホール * ¹	
②	電源ボタン	
③	USB	USB2.0 (DC5V, 500mA) USB コネクタ
④	USB	USB2.0 (DC5V, 500mA) USB コネクタ
⑤	RJ45	LAN RJ45 コネクタ
⑥	HDMI 1	HDMI HDMI コネクタ
⑦	HDMI 2	HDMI HDMI コネクタ
⑧	SERVICE PORT * ²	システムデバッグポート
⑨	LINE OUT	ø 3.5mm Mini Jack ヘッドホンコネクタ
⑩	IR IN * ³	ø 3.5mm Mini Jack IR コネクタ (赤外線拡張コネクタ)
⑪	RS232	ø 2.5mm Sub-mini Jack RS232C コネクタ
⑫	DC IN	DC Jack AC アダプタ接続コネクタ (---: 直流)
⑬	ハンドル	
⑭	赤外線センサー * ⁴	リモコン受光部

*¹ 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

*² システムのバグを検出し修正するときに使用します。通常は使用しません。

*³ 付属の IR 延長ケーブルを接続して、赤外線センサーを拡張することができます。

*⁴ 本体の中央部に内蔵されています。

モニタの設置



警告

- 傷害防止のため、この機器は、設置説明書に従って、床または壁にしっかりと取り付ける必要があります。

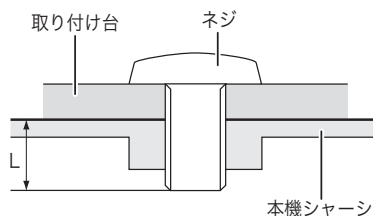


注意

- 取り付け機器の取扱説明書の指示に従ってください。資格のあるサービス担当者すべてのサービスを委託してください。
- モニタを移動させる時は、2人以上で行ってください。
- 取り付けの前に、壁がモニタを取り付けるのに十分な強度があることを確認してください。

< 壁掛けで使用する場合 >

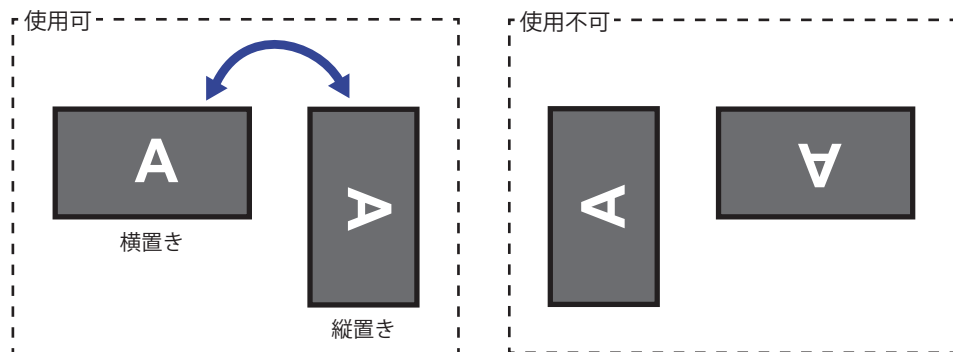
- 本製品を壁掛けでご使用になる場合は、取り付け台の厚さを考慮の上、L部の長さが8mm/10mm*となるM6ワッシャー付ネジ(4個)を使用して、しっかりと固定してください。指定の長さを超えるネジを使用すると、モニタ内部の電気部品に接触し、感電または故障の原因となることがあります。



* L= 8mm : ProLite LH4370UHB
10mm : ProLite LH5570UHB

< 画面の回転 >

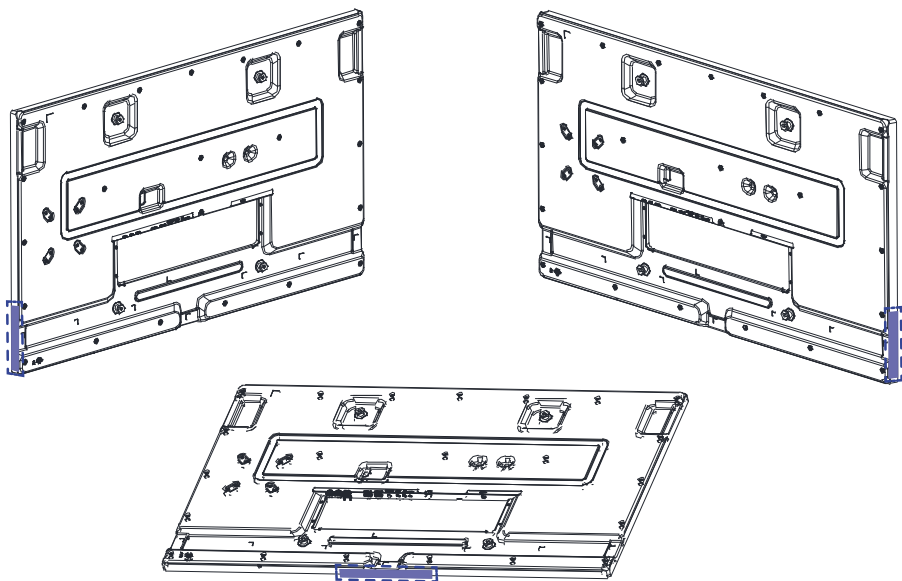
- 本製品は、横置き／縦置きどちらでも使用できるように設計されています。



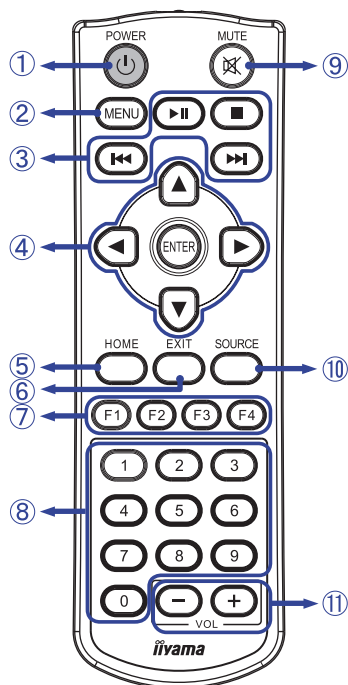
補足 縦置きでご使用になる場合は、横置きの状態から時計回りにモニタを回転させてください。

< 筐体用ステッカーを貼る >

- 付属の筐体用ステッカーを使用すると、モニター本体の右 / 左 / 下の開口部からケーブル配線が見えないように覆うことができます。



各部のなまえ：リモコン



①	POWER	モニタの電源オン/オフを切り替えます。
②	MENU	モニタの OSD メニューを開きます。
③	▶ ■ ◀▶	メディアファイルの再生をコントロールします。 ▶ : 再生 / 一時停止 ■: --- ◀◀: 前のファイルを再生します。 ▶▶: 次のファイルを再生します。
④	▲ ▼ ◀ ▶	サブメニューや設定間を移動します。 ▲: アップボタン ▼: ダウンボタン ◀: 左ボタン ▶: 右ボタン
	ENTER	選択を確認したり、変更を保存します。
⑤	HOME	ホーム画面に戻ります。
⑥	EXIT	前のメニューに戻る、または OSD メニューを終了します。
⑦	F1 F2 F3 F4	F1: バックライトのオン/オフを切り替えます。 F2 / F3: --- F4: 現在の解像度とリフレッシュレートを表示します。
⑧	0-9	数字ボタン: 数字を入力します。
⑨	MUTE	メニューが表示されていない時にミュート機能をオン/オフします。
⑩	SOURCE	現在利用可能なビデオソースを表示します。 ◀ / ▶ ボタンを押して HDMI 1 または HDMI 2 を選択します。[ENTER] ボタンを押して決定します。
⑪	VOL - +	音量 -: 外部接続されているスピーカーまたはヘッドホンの音量を下げます。 音量+: 外部接続されているスピーカーまたはヘッドホンの音量を上げます。

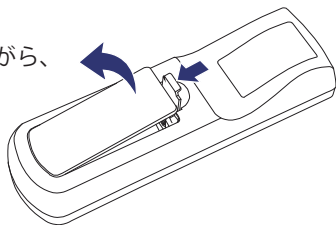
リモコンの準備

リモコンに電池を入れて、使用する準備をします。

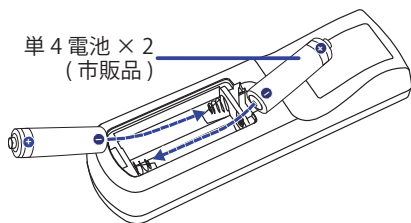
注意 守られなかった場合、電池が破裂または電池から電解液が漏れ、火災やけがの原因となります。

- リモコンの電池は、指定された以外の電池は使用しないでください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池の "+" と "-" を間違えて挿入しないでください。

- ① リリースラッチを押しながら、電池カバーを開けます。

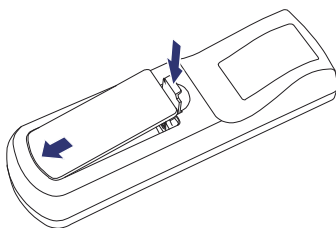


単 4 電池 × 2
(市販品)



- ② リモコンの電池ポートに単 4 電池 2 本を挿入します。
(リモコンの "+" " - " 表示に従う)

- ③ 電池カバーを閉めます。



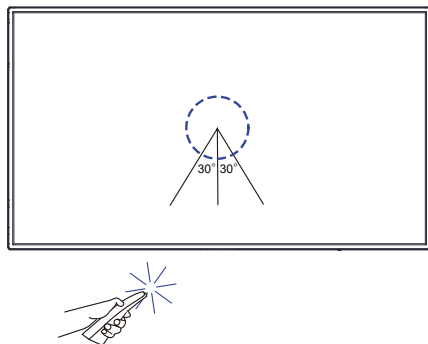
補足

- **本製品に電池は付属していませんので、市販品をご使用ください。**
- モニタの近くでリモコン操作をしても動作しない場合、新しい電池と交換してください。
単 4 乾電池をご使用ください。
- モニタのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
- 他のメーカーのリモコンは、このモニタでは動作しません。付属のリモコンをご使用ください。
- 使用済の電池は、地方自治体の条例または規則に従って廃棄してください。
- 電池は、日光や火などの過度の熱にさらさないでください。

リモコンを使う

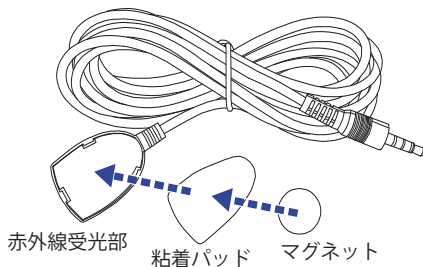
■ 動作範囲

本製品は、本体中央部に赤外線センサーが内蔵されています。リモコンを使用する場合は、画面中央から 2.8m 以内、上下 / 左右の角度が各 30° の範囲内に向けてください。



■ IR 延長ケーブル

付属の IR 延長ケーブルを使って、赤外線センサーをお好みの場所に配置することもできます。同梱されている粘着パッドの片側の台紙をはがし、赤外線受光部の裏側に貼ります。次に、もう片方の台紙をはがしてマグネットを貼ります。



■ リモコンのロックと解除

ロック：

最初にリモコンの [F3] を押し、続けて数字ボタンを [0] [0] [2] の順に押します。

ロック解除：

最初にリモコンの [F3] を押し、続けて数字ボタンを [0] [0] [3] の順に押します。

基本操作

■ モニタの電源を「オン」にする

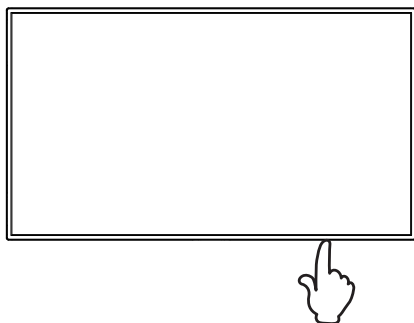
モニタまたはリモコンの電源ボタン (POWER) を押すと、モニタの電源が「オン」になります。リモコンの電源ボタンを再度押す、またはモニタの電源ボタンを3秒間長押しすると、モニタの電源が「オフ」になります。

補足

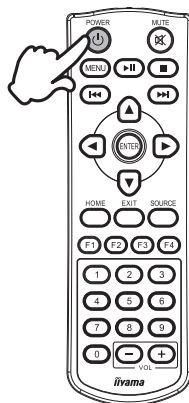
初期設定では、電源コードをコンセントに接続するだけで、モニタの電源が「オン」になります。モニタの電源が「オン」の状態でもモニタの電源ボタンを押すと、バックライトがオフになり、もう一度押すとバックライトがオンになります。

スタンバイモードを使用、バックライトがオフ状態、もしくはモニタの電源が「オフ」になったときでも、モニタは少量の電力を消費しています。不必要な電力消費を避けるために、夜間またはモニタを使用していないときは電源ケーブルを抜いてください。

[モニタ]



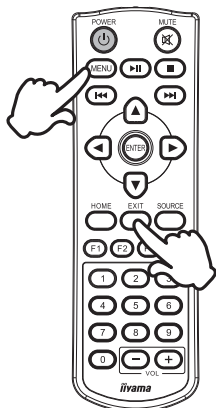
[リモコン]



■ 調整メニューページを表示する

リモコンの MENU ボタンを押すと、メニューページが画面上に表示されます。リモコンの EXIT ボタンを押すと、メニューページは消えます。

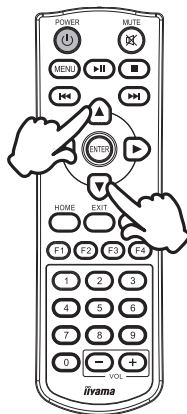
[リモコン]



■ 上下にカーソルを動かす

メニューページが画面に表示されている間、モニタの ▲/▼ ボタンを押して調整項目を選択します。

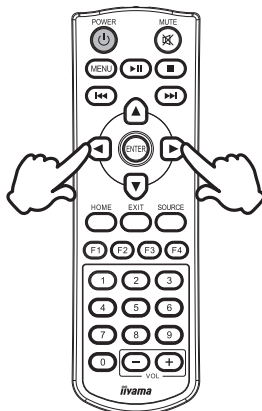
[リモコン]



■ 左右にカーソルを動かす

メニューページが画面に表示されている間、リモコンの ◀/▶ ボタンを押してメニューを選択したり設定したり、調整を実行します。

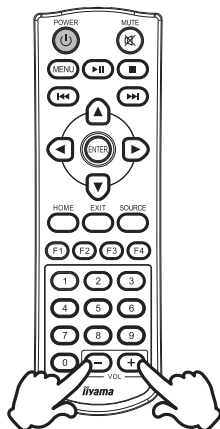
[リモコン]



■ 音量を調整する

メニューページが画面に表示されていないときに、リモコンの (VOL) -/+ ボタンを押して、音量の調整をします。

【リモコン】

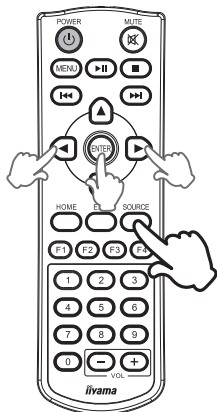


■ 入力信号を切り替える

リモコンの SOURCE ボタンを押して、利用可能なビデオソースを表示させます。

◀または▶ ボタンを押して HDMI 1 か HDMI 2 のどちらかを選択し、ENTER ボタンを押して決定します。

【リモコン】





警告

- 安全のため、必ずアースリード（黄 / 黄緑）を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。
- アースリードをコンセントに挿入、接触させないでください。火災や感電の原因となります。



注意

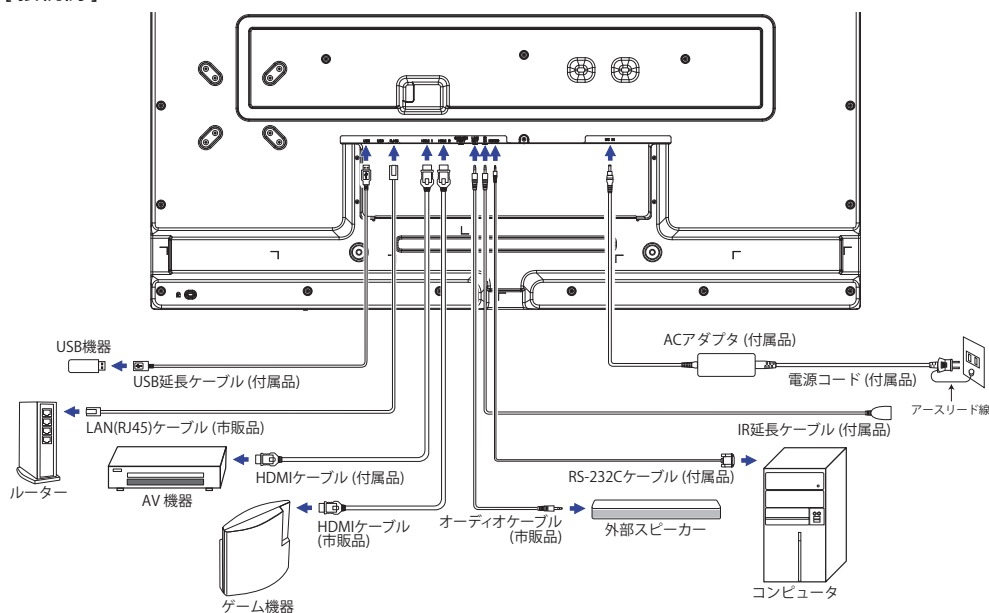
- 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。
- 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。
- 付属のケーブル以外のケーブルを使用すると不具合が発生することがあります。

- ① モニタおよびコンピュータの電源が「オフ」であることを確認します。
- ② RS-232C を使用する場合は、RS-232C ケーブルをモニタとコンピュータに接続します。
- ③ USB を使用する場合は、USB 延長ケーブルをモニタと USB 機器に接続します。
- ④ HDMI 接続ができる AV 機器を使用する場合は、HDMI ケーブルをモニタと AV 機器に接続します。
- ⑤ リモートセンサーを拡張する場合は、IR 延長ケーブルをモニタに接続します。
- ⑥ AC アダプタを AC アダプタ接続コネクタに接続し、電源コードを AC アダプタに接続してからコンセントに接続します。この際、アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。
- ⑦ モニタおよびコンピュータの電源を「オン」にします。

本製品は、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。必ずルーター等を経由して接続してください。

[接続例]

<後面>





警告

- 安全のため、必ずアースリード（黄 / 黄緑）を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。
- アースリードをコンセントに挿入、接触させないでください。火災や感電の原因となります。



注意

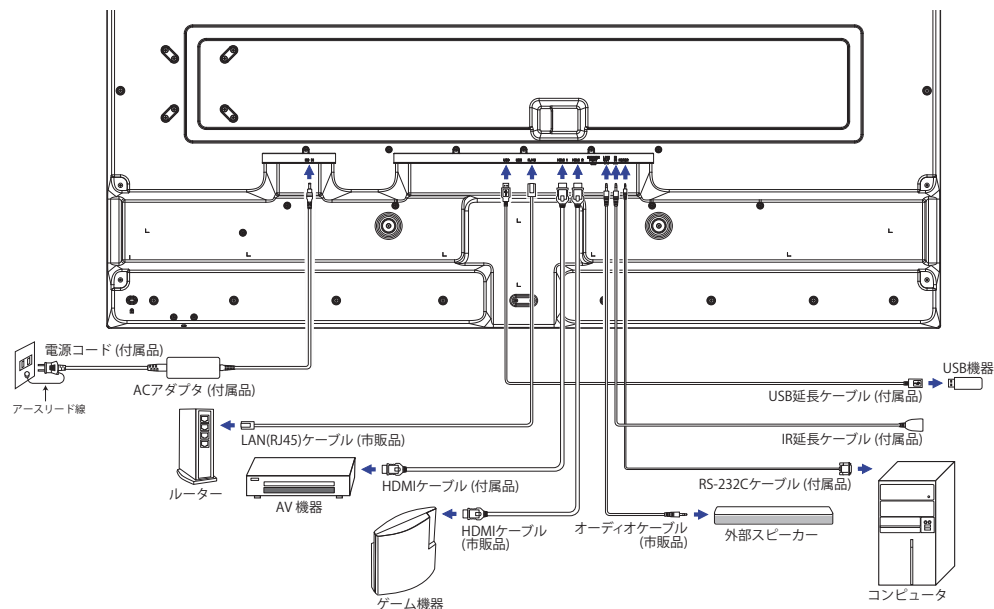
- 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニターやコンピュータの故障の原因となることがあります。
- 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。
- 付属のケーブル以外のケーブルを使用すると不具合が発生することがあります。

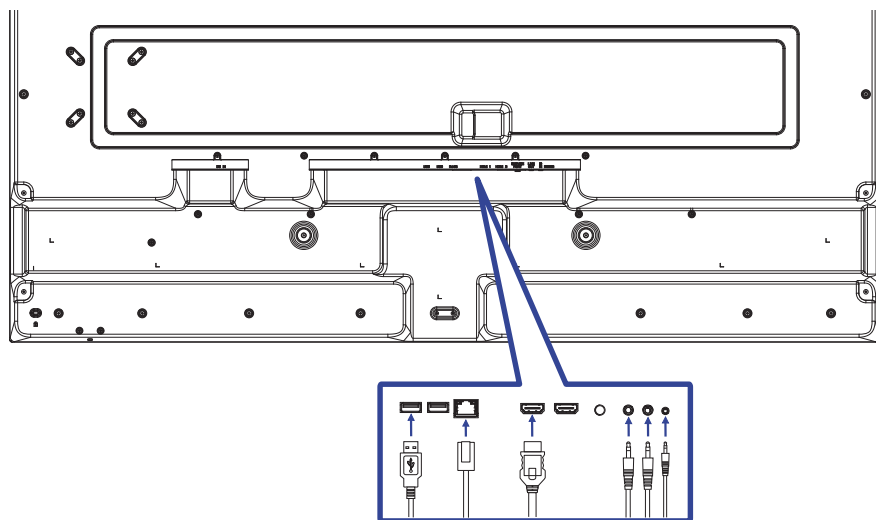
- ① モニタおよびコンピュータの電源が「オフ」であることを確認します。
- ② RS-232C を使用する場合は、RS-232C ケーブルをモニターとコンピュータに接続します。
- ③ USB を使用する場合は、USB 延長ケーブルをモニターと USB 機器に接続します。
- ④ HDMI 接続ができる AV 機器を使用する場合は、HDMI ケーブルをモニターと AV 機器に接続します。
- ⑤ リモートセンサーを拡張する場合は、IR 延長ケーブルをモニターに接続します。
- ⑥ AC アダプタを AC アダプタ接続コネクタに接続し、電源コードを AC アダプタに接続してからコンセントに接続します。この際、アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。
- ⑦ モニタおよびコンピュータの電源を「オン」にします。

本製品は、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。必ずルーター等を経由して接続してください。

[接続例]

<後面>





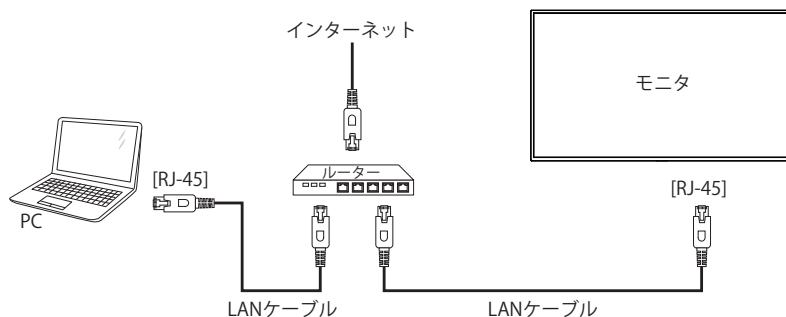
補足

- 周辺機器の取扱説明書も参照してください。
- 必要に応じて、各ケーブルをご用意ください。

[ネットワークのセットアップ]

1. ルーターのスイッチをオンにして DHCP の設定に切り替えます。
2. LAN ケーブルで、ルーターをモニタとコンピュータに接続します。
3. オンスクリーンメニューで、IP アドレスを確認します。
リモコンの MENU ボタンを押し、メニューから「情報」を選択します。次に「IP アドレス」を選択して表示させます。

補足 シールドされた CAT-5 LAN ケーブルで接続します。



コンピュータの設定

■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度 (P.39「対応信号タイミング」参照) に設定してください。

■ Windows XP/Vista/7/8/8.1/10 プラグ & プレイ対応

本製品は VESA 規格の DDC2B に対応しています。DDC2B 対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows XP/Vista/7/8/8.1/10 上でプラグ & プレイ機能が動作します。この際、Windows XP モニタインフォメーションファイルのインストールが必要になる場合がありますので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。

ホームページアドレス <https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support.aspx>

補足

■ ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますので、ご覧ください。

■ Macintosh または Unix については、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

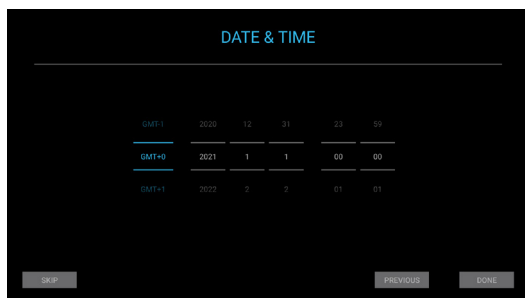
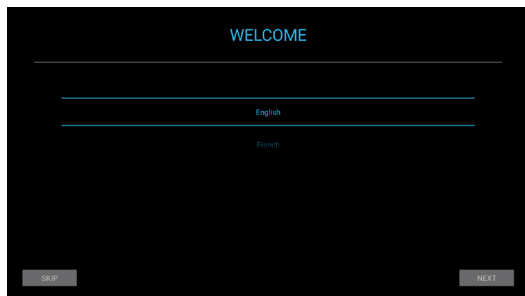
■ 電源ボタンを「オン」にする順番

- ① モニタ
- ② コンピュータ

操作手順

初期メニュー画面は、モニタの電源を最初に「オン」にしたとき*、または Android システムを初期化したときに表示されます。

* 初期設定では、電源コードをコンセントに接続するだけで、モニタの電源が「オン」になります。オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択し、日付と時刻を設定してください。



P.39 の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従って、リモコンでボタン操作を行ってください。ここでは日本語表示で説明しています。

- ① MENU ボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。▲ / ▼ ボタンでメニューを送ります。



- ② 調整したい項目が含まれているメニューを選択し、ENTER ボタンを押します。▲/▼ ボタンで項目を選択します。
- ③ 再び ENTER ボタンを押し、◀/▶ ボタンを使って調整や設定を行っていきます。
- ④ EXIT ボタンを押して終了します。オンスクリーン表示が消えると、調整や設定の内容を自動的に記憶します。

例えばコントラストを調整したいときは、まず「画像モード」を「ユーザー」に設定する必要があります。

メニューの「映像設定」を選択し ENTER ボタンを押します。「画像モード」がハイライト表示された状態で◀/▶ ボタンで使って「ユーザー」を選択し ENTER ボタンを押すとコントラスト調整が可能になります。

続けて▲/▼ ボタンで「コントラスト」を選択し、再び ENTER ボタンを押します。◀/▶ ボタンを使って好みの画面に調整します。



最後に EXIT ボタンを押して終了し、設定を記憶させます。

- 補足**
- 調整中に EXIT ボタンを押すと 1 つ前のメニューに戻ります。
 - オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「オフ」にしないでください。

調整メニューの内容

言語 (Language) で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色で記載しています。



映像設定 *1

Picture

項目	画面の状態 / 調整ボタン			
画像モード Picture Mode	キャンセル	メニューに戻ります。		
	実行	設定を有効にします。		
		スタンダード	パフォーマンスに適した画像モードを選択します。	
		ソフト		
		PC		
		ユーザー		
		鮮明		
コントラスト *2 Contrast	弱すぎる			 
	強すぎる		 	
ブライトネス *2,3 Brightness	暗すぎる		 	
	明るすぎる		 	
色あい *2 Hue	弱すぎる		 	
	強すぎる		 	
シャープネス *2 Sharpness	ソフトすぎる		 	
	シャープすぎる		 	
色のこさ *2 Saturation	薄すぎる		 	
	濃すぎる		 	
バックライト *4 Back Light	暗すぎる		 	
	明るすぎる		 	
色温度 Color Temperature	11500K			
	9300K			
	6500K			
	ユーザー	赤色	弱すぎる 強すぎる	   
		緑色		
		青色		
アスペクト比 Aspect Ratio	自動	画像を元のアスペクト比で表示します。 (4 : 3 または 16 : 9)		
	フルスクリーン	画像を全画面に拡大表示します。		
	アスペクト	すべての画像を 4 : 3 アスペクト比で表示します。		
ガンマ選択 Gamma Selection	スタンダード			
	高			
	低			

*1 「バックライト」以外の設定内容は入力信号別 (iiWare Home, HDMI 1, HDMI 2) に記憶されます。
「バックライト」は、全ての入力信号に対して共通の内容が記憶されます。

*2 「画像モード」の「ユーザー」を選択しているときのみ有効です。

*3 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、「ブライトネス」を調整してください。

*4 「画像モード」の「スタンダード」を選択しているときは調整できません。



サウンド* Sound

項目	画面の状態 / 調整ボタン	
バランス Balance	サウンドデバイスの左側の音が大きい サウンドデバイスの右側の音が大きい	 
高音 Treble	弱すぎる 強すぎる	 
低音 Bass	弱すぎる 強すぎる	 

* 外部サウンドデバイスの調整



設定 Setting

項目	画面の状態	
OSD オフタイマー OSD Off Timer	5 秒	オンスクリーンメニューの表示時間を設定します。
	10 秒	
	15 秒	
	20 秒	
	30 秒	
	40 秒	
	50 秒	
	60 秒	
	無効	OSD オフタイマーを無効にします。
色範囲 Color Range	フル	フルレンジカラースケール信号用
	リミット	制限されたカラースケール信号用
オリエンテーション Orientation	ランドスケープ	オンスクリーンメニューを横長表示にします。
	ポートレート	オンスクリーンメニューを縦長表示にします。
CEC オプション CEC Options	有効	CEC (Consumer Electronics Control) 機能を有効にします。
	無効	CEC (Consumer Electronics Control) 機能を無効にします。
Wake On Lan Wake On LAN	有効	LAN ネットワークを使って遠隔操作でモニタの電源を「オン」にします。
	無効	Wake On Lan 機能を無効にします。
自動ウェイクアップ * ¹ Auto Wake Up	有効	自動ウェイクアップ機能を有効にします。
	無効	自動ウェイクアップ機能を無効にします。
	補足	この機能を有効にすると、利用可能な入力信号 (HDMI 1 または HDMI 2) を検出したとき、モニタはスタンバイモードから自動的に「オン」になります。
起動時のソース Boot On Source	Home	起動時のデフォルト入力信号を設定します。
	HDMI 1	
	HDMI 2	
	MediaPlayer	モニタの電源を「オン」にすると、最後に電源を「オフ」にしたときと同じ入力信号で起動します。
	最後の入力	
ロゴのオン / オフ LOGO On/Off	有効	モニタの電源を「オン」にしたとき、iiyama ロゴを表示します。
	無効	モニタの電源を「オン」にしたとき、iiyama ロゴを表示しません。
HDMI バージョン * ² HDMI Version	1.4	HDMI のバージョンを選択します。
	2.0	
IR/ キーパッドロック * ³ IR/Keypad Lock	無効	リモコン操作が可能です。
	有効	リモコンがロックされます。

*¹ 「節電」機能でスタンバイモードになっているときのみに有効です。

*² HDMI バージョンを変更した後、モニタを再起動すると、選択した HDMI バージョンが有効になります。

*³ リモコンのロックと解除については、P.13 を参照してください。



設定 Setting

項目	画面の状態			
言語 * ⁴ Language	現在選択されている言語が表示されます。			
	English	英語表示	Español	スペイン語表示
	Italiano	イタリア語表示	Français	フランス語表示
	Nederlands	オランダ語表示	日本語	日本語表示
	Česky	チェコ語表示	Polski	ポーランド語表示
節電 * ⁵ Power Saving	Deutsch	ドイツ語表示	Русский	ロシア語表示
	30 秒	無信号状態の設定時間が経過すると、モニタがスタンバイモードに切り替わります。		
	60 秒			
	120 秒			
	240 秒			
電源オフからの回復 * ⁶ Recovery from Power Off	300 秒	無信号状態になると、“無信号”を表示し続けます。		
	無効			
	スタンバイ	電源コードがコンセントに接続されていても、モニタは待機状態になります。		
初期設定に戻す Restore To Default	最終ステータス	電源コードがコンセントに接続されていると、モニタは前の状態（電源「オン」/待機状態）に戻ります。		
	フォースオン	電源コードがコンセントに接続されていると、モニタの電源は「オン」になります。		
工場出荷設定に戻します。				

*⁴ 言語の選択は iiWare Home で行います。

*⁵ HDMI 1, HDMI 2 入力のみ有効です。

*⁶ 停電などでモニタの電源が「オフ」になり再度電力が復旧したときの、モニタの復帰設定を選択します。初期設定では、「フォースオン」が選択されています。



時間 Time

項目	画面の状態	
日付 Date	iiWare Home で設定した日付を表示します。(月 / 日 / 年)	
現在の時刻 Current Time	iiWare Home で設定した現在の時刻を表示します。(時 / 分 / 秒)	
スケジュール Scheduler	キャンセル	メニューに戻ります。
	実行	設定を有効にします。
		曜日 月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日 / 日曜日 から選択します。
		有効 スケジュールを有効または無効にします。
		電源オン モニタ電源を「オン」にする時間を設定します。
		電源オフ モニタ電源を「オフ」にする時間を設定します。



情報 Information

項目	画面の状態
iiWare バージョン iiWare Version	iiWare のバージョンを表示します。
FW バージョン FW Version	ファームウェアのバージョンを表示します。
発売日 Release Date	ファームウェアの発売日を表示します。
解像度 ダイレクト調整 Current Resolution	現在の解像度とリフレッシュレートを表示します。*
IP アドレス IP Address	IP アドレスを表示します。
Wi-Fi MAC アドレス Wi-Fi MAC Address	Wi-Fi MAC アドレスを表示します。
MAC アドレス MAC Address	MAC アドレスを表示します。
内部温度 Internal Thermal Temp.	内部温度を表示します。

* HDMI 1, HDMI 2 入力のみ有効です。

ダイレクト調整

- 解像度：画面が表示されていないときに、リモコンの F4 ボタンを押します。

[アプリケーション]

リモコンの HOME ボタンを押すと、iiWare Home 画面が表示されます。





APP

項目	画面の状態
設定	SETTING を参照してください。
マルチメディアプレーヤー	プレイリストを再生します。*

* FILE BROWSER でプレイリストを編集できます。



SOURCE

項目	画面の状態
HDMI1	HDMI 1 入力に切り替えます。
HDMI2	HDMI 2 入力に切り替えます。

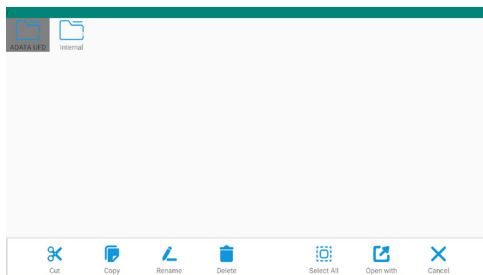


SETTING

項目	画面の状態
ネットワークとインターネット	Wi-Fi、データ使用量
接続済みの端末	Bluetooth 設定 (このモデルでは利用できません。)
アプリと通知	権限、デフォルトアプリ
ディスプレイ	バックライト、フォントサイズ、ディスプレイサイズ調整
音	外部サウンドデバイスの音量調整
ストレージ	内部および外部のストレージ状況を表示します。
セキュリティ	暗号化と認証情報
アカウント	アカウント追加、データの自動同期
システム	デバイス、言語と入力、日付と時刻、リセットオプション



FILE BROWSER



内部ストレージデバイスと USB ストレージに保存されているファイルを参照します。

● サポートファイルフォーマット

拡張子	コンテナ	画像コーデック	解像度	フレームレート (fps)	オーディオコーデック
*.3gp	*.3gp	H.264 (HP/BP/MP)	1920x1080	60	MP3 AAC
*.m4v	*.m4v	H.263 Profile 0			
*.mkv	*.mkv	MPEG-4			
*.mov	*.mov	MPEG-2			
*.mp4	*.mp4	MPEG-1			
*.mp4	*.mp4	Motion-JPEG			
*.ogg	*.ogg	H.264 (HP/BP/MP)	3840x2160	30	AAC
*.opus	*.opus	HEVC	3840x2160	60	
*.mp4	*.mp4	MPEG-4	3840x2160	60	AAC
*.webm	*.webm	VP8	1920x1080	60	Vorbis

ツール	機能	ツール	機能
	新規フォルダ		名前の変更
Filter:	フィルタ		削除
	選択		すべて選択
	カット		プログラムから開く *
	コピー		キャンセル

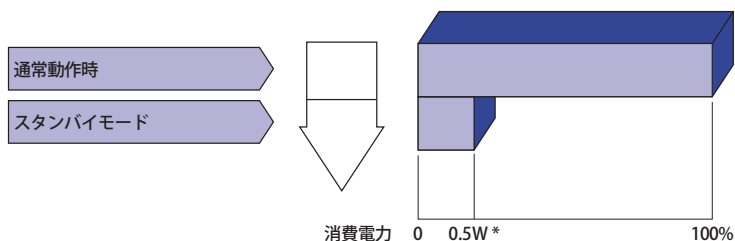
* 目的のファイルを選択し、「プログラムから開く」を実行します。共有可能なアプリケーションから「マルチメディアプレーヤー」を選択すると、すべての選択ファイルが再生されます。

スタンバイ機能

本製品のスタンバイ機能は、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能は次のモードを備えており、モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ スタンバイモード

コンピュータからのビデオ信号がオフ状態になるとスタンバイモード（消費電力 0.5W 以下*）となり、画面が暗くなります。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



* USB 機器未接続時

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は 2. へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

症状

① 映像が出ない

チェックポイント

- ☐ AC アダプタが本体に確実に接続されていますか？
- ☐ 電源コードが AC アダプタに確実に接続されていますか？
- ☐ 電源コードが確実に接続されていますか？
- ☐ 電源ボタンが「オン」されていますか？
- ☐ 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。
- ☐ ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。
- ☐ コントラストおよびブライツネスが最小になっていませんか？
- ☐ コンピュータの電源は入っていますか？
- ☐ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ☐ スタンバイモードになっていませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。

② 画面が乱れている

- ☐ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

③ 画面の位置が片寄っている

- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

④ 画面が明るすぎる／暗すぎる

- ☐ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

⑤ 画面が揺れる

- ☐ 電源電圧は正常ですか？ タコ足配線はやめてください。
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

症状

チェックポイント

⑥ 外部出力先の音が出ない

- ☐ オーディオ機器（コンピュータ等）の電源は入っていますか？
- ☐ オーディオケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ 音量調整が最小になっていませんか？
- ☐ MUTE（消音）になっていませんか？
- ☐ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

⑦ 音が大きい／小さい

- ☐ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

⑧ 異音がする

- ☐ オーディオケーブルが確実に接続されていますか？

クリーニング

警告

- 万一、モニター内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

注意

- 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

補足

- 液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。
- キャビネットや液晶パネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・研磨剤
- ・スプレークリーナー
- ・ワックス
- ・酸性、アルカリ性の溶剤

- キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネット 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

液晶パネル 定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

アフターサービス

保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期限はお買い上げ日より3年間です。
ただし、保証期間内でも有料修理とさせていただく場合があります。詳しくは、付属のセーフティ & クイックスタートガイドの＜保証条件＞をご確認ください。

修理サービス

- 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためモニタを輸送されるときは、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ず iiyama サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後5年間保有することを基本としております。しかし、部品によっては稀に5年間保有することができない場合や標準品とは違う同等品となる場合もございますのであらかじめご了承ください。また、補修用性能部品の5年間の保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターにご相談ください。
- 修理の際に弊社品質基準に適合した再生部品を使用することがございます。あらかじめご了承ください。

リサイクル／廃棄について

- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。
- 製品を弊社以外へ廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- リサイクル／廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧ください。か、iiyama サポートセンター リサイクル受付へお問い合わせください。

リサイクル／廃棄についてのお問い合わせ

iiyama サポートセンター リサイクル受付

TEL 03-6636-4312

付録

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様：ProLite LH4370UHB-B1

サイズカテゴリ		43 型
液晶 パネル	パネル方式	AMVA
	サイズ	対角 108cm (42.5 型)
	画素ピッチ	水平 0.245mm × 垂直 0.245mm
	輝度	700cd/m ² (標準)
	コントラスト比	4000 : 1 (標準)
	視野角	水平 178° 垂直 178° (標準)
	応答速度	8ms (標準, グレー↔グレー)
最大表示色		約 10.7 億色
走査周波数		水平：28.12 ～ 135.0kHz 垂直：24 ～ 75Hz
解像度		3840 × 2160 (最大), 8.3MegaPixels
サポートされている 最大解像度		3840 × 2160, 60Hz
信号出力コネクタ		HDMI × 2
音声出力コネクタ		ø3.5mm ステレオミニジャック
LAN		RJ45
シリアルポート		RS-232C In, ø2.5mm サブミニジャック
入力映像信号		HDMI 1, HDMI 2
出力音声信号		2.0Vrms (最大)
赤外線拡張コネクタ		IR In, ø3.5mm ミニジャック
USB コネクタ		USB2.0 (DC5V, 500mA) × 2 USB 機器 (マウス / キーボード / USB メモリ等) 用
最大表示範囲		水平：941.18mm 垂直：529.42mm
入力電源		DC24V 5A
AC アダプタ (付属品)		入力：AC100 ～ 240V 50-60Hz
消費電力 *		90W (標準) スタンバイモード時：0.5W (最大)
外形寸法, 重量		967.5 (幅) × 555.5 (高) × 25.0 (奥行) mm, 12.5kg
環境条件		動作時： 温度 0 ～ 40℃ 湿度 10 ～ 80% (結露なきこと) 保管時： 温度 - 20 ～ 60℃ 湿度 10 ～ 90% (結露なきこと)
適合規格		CE, VCCI-A

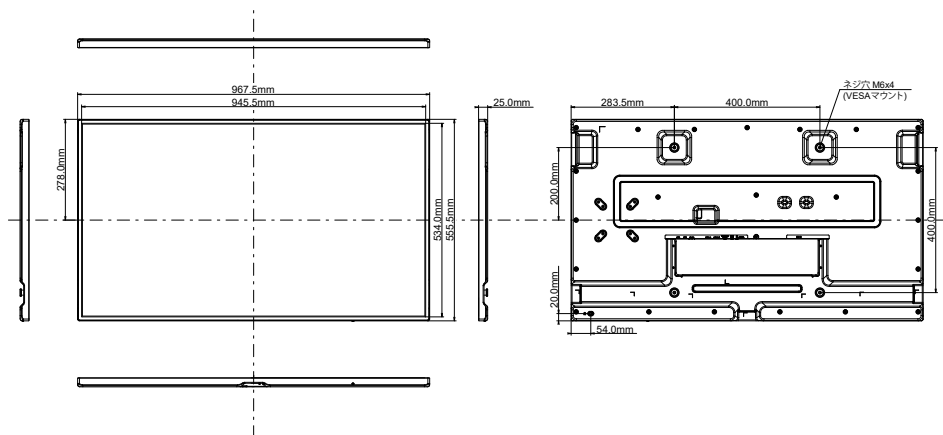
補足 * USB 機器未接続時

一般仕様：ProLite LH5570UHB-B1

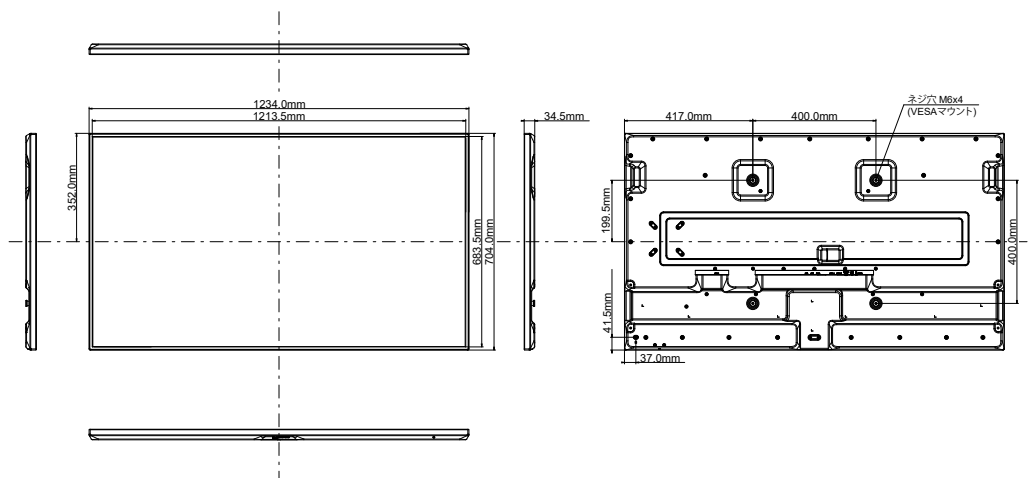
サイズカテゴリ		55 型
液晶 パネル	パネル方式	AMVA
	サイズ	対角 138.8cm (54.6 型)
	画素ピッチ	水平 0.315mm × 垂直 0.315mm
	輝度	700cd/m ² (標準)
	コントラスト比	4000 : 1 (標準)
	視野角	水平 178° 垂直 178° (標準)
	応答速度	8ms (標準, グレー←→グレー)
最大表示色		約 10.7 億色
走査周波数		水平：28.12 ～ 135.0kHz 垂直：24 ～ 75Hz
解像度		3840 × 2160 (最大), 8.3MegaPixels
サポートされている 最大解像度		3840 × 2160, 60Hz
信号出力コネクタ		HDMI × 2
音声出力コネクタ		ø3.5mm ステレオミニジャック
LAN		RJ45
シリアルポート		RS-232C In, ø2.5mm サブミニジャック
入力映像信号		HDMI 1, HDMI 2
出力音声信号		2.0Vrms (最大)
赤外線拡張コネクタ		IR In, ø3.5mm ミニジャック
USB コネクタ		USB2.0 (DC5V, 500mA) × 2 USB 機器 (マウス / キーボード / USB メモリ等) 用
最大表示範囲		水平：1209.6mm 垂直：680.4mm
入力電源		DC24V 5.6A
AC アダプタ (付属品)		入力：AC100 ～ 240V 50-60Hz
消費電力 *		110W (標準) スタンバイモード時：0.5W (最大)
外形寸法, 重量		1234.0 (幅) × 704.0 (高) × 34.5 (奥行) mm, 21.5kg
環境条件		動作時： 温度 0 ～ 40℃ 湿度 10 ～ 80% (結露なきこと) 保管時： 温度 - 20 ～ 60℃ 湿度 10 ～ 90% (結露なきこと)
適合規格		CE, VCCI-A

補足 * USB 機器未接続時

外形寸法図：ProLite LH4370UHB



外形寸法図：ProLite LH5570UHB



対応信号タイミング

ビデオモード		水平 周波数 (kHz)	垂直 周波数 (Hz)	ドット クロック (MHz)	HDMI 1.4	HDMI 2.0
PC (FHD)	640x480@60Hz	31.5	60.0	25.175	○	○
	640x480@75Hz	37.5	75.0	31.500	○	○
	720x400@70Hz	31.5	70.0	28.320	○	○
	800x600@60Hz	37.9	60.0	40.000	○	○
	832x624@75Hz	49.7	75.0	57.284	○	○
	1024x768@60Hz	48.4	60.0	65.000	○	○
	1280x720@60Hz 16:9	45.0	60.0	74.250	○	○
	1280x1024@60Hz 5:4	64.0	60.0	108.000	○	○
	1920x1080@60Hz 16:9	67.5	60.0	148.500	○	○
	1440x900@60Hz 16:10	55.5	60.0	88.750	○	○
PC (UHD)	1680x1050@60Hz 16:10	65.3	60.0	146.250	○	○
	3840x2160@30Hz	67.5	30.0	297.000	○	○
Video (FHD)	640x480p@60Hz 4:3	31.5	60.0	25.200	○	○
	720x480p@60Hz 4:3	31.5	60.0	27.030	○	○
	720x480p@60Hz 16:9	31.5	60.0	27.030	○	○
	720x576p@50Hz 4:3	31.3	50.0	27.000	○	○
	720x576p@50Hz 16:9	31.3	50.0	27.000	○	○
	1280x720p@60Hz 16:9	45.0	60.0	74.250	○	○
	1280x720p@50Hz 16:9	37.5	50.0	74.250	○	○
	1920x1080p@60Hz 16:9	67.5	60.0	148.500	○	○
	1920x1080i@60Hz 16:9	33.8	60.0	74.250	○	○
	1920x1080p@50Hz 16:9	56.3	50.0	148.500	○	○
Video (UHD)	1920x1080i@50Hz 16:9	28.1	50.0	74.250	○	○
	3840x2160p@24Hz	54.0	24.0	297.000	○	○
	3840x2160p@25Hz	56.3	25.0	297.000	○	○
	3840x2160p@30Hz	67.5	30.0	297.000	○	○
	3840x2160p@50Hz	112.5	50.0	594.000		○
	3840x2160p@60Hz	135.0	60.0	594.000		○

○：サポートしています。

お客様の個人情報の管理および利用について

当社は、お客様の個人情報について、「個人情報の保護に関する法律」および「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」に準拠し、取り扱いを定めて、適切に管理、利用いたします。

当社が定める「個人情報保護方針」は、下記 URL からご確認ください。

URL: <https://www.mouse-jp.co.jp/store/privacy/privacy.aspx>

株式会社マウスコンピューター

- 製品の取り扱いおよび修理についてのお問い合わせ

iiyama サポートセンター

24 時間 365 日サポート対応

TEL 03-6636-4312

FAX 03-6636-4341

特定化学物質の含有情報は下記の弊社サイトに掲載しています。

URL: <https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support/jmos.aspx>

サポートの最新情報（連絡先等）は弊社サポートサイトに掲載しています。
お問い合わせの前に、サポートサイトにてご確認ください。

URL: <https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support.aspx>